

安全データシート

改定日：2021-07-01

初版日：2017-03-24

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：洗浄カートリッジ

製品コード：Cleaner Cartridge

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：武藤工業株式会社

住所：〒393-8585
長野県諏訪郡下諏訪町 3128

担当部門：品質保証部

電話番号：0266-28-1883

FAX 番号：0266-28-7760

推奨用途：武藤工業株式会社製インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

GHS 分類基準に該当しない。

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分及び濃度又は濃度範囲

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	官報公示整理番号
有機成分	-*	< 5	-*
水	7732-18-5	残余	対象外

* は機密情報のため開示できません

4. 応急措置

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にすること。必要なら医師に相談すること。

皮膚に付着した場合：水と石鹸で洗うこと。炎症の兆候がある場合は医師の診断を受けること。

眼に入った場合：直ちに、室温、低圧、清浄な水で 15 分以上、洗い流すこと。眼の刺激が続く時には医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 水で口の中をうがいし、速やかに専門医の診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の
最も重要な徴候症状 : 知見なし。

応急措置をする者の保護に
必要な注意事項 : 特に無し。

医師に対する特別な注意事項 : 無し。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 化学消火剤、二酸化炭素。

使ってはならない消火剤 : 知見なし。

火災時の特有の危険有害性 : 知見なし。

特有の消火方法 : 吸入器具以外の特別な方法を必要としない。爆発の危険性はないと思われる。

消火活動を行う者の特別な
保護具及び予防措置 : 必要に応じて適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護
具及び緊急時措置 : 眼にインクが入らないように気をつける。手についたインクは水と石鹼でよく洗い流す。
必要に応じて適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用すること。

環境に対する注意事項 : 下水に流さないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び
機材 : スポンジなどを用いて液体を拭き取り、それを密閉容器に入れ、適切な方法で廃棄すること。作業の際には換気をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 : 通常の手扱いでは必要無い。

局所排気，全体換気 : 通常の手扱いでは必要無い。

安全取扱注意事項 : カートリッジをプリンターに装着する際には、カートリッジからインクが漏れていないことを確認すること。インクカートリッジを分解しないこと。インクカートリッジを強く振らないこと。強く振ったり振り回したりするとインクが漏れることがある。

接触回避 : 通常の手扱いでは必要無い。

保管
安全な保管条件 : 直射日光を避け、常温常湿で保管すること。酸化剤や爆発物と一緒に保管しないこと。

安全な容器包装材料 : 適用外（本製品は他の容器包装へ移し替えて保管することを意図

されていない)。

8. ばく露防止及び保護措置 許容濃度

成分	安衛法管理濃度	日本産業衛生学会勧告値	ACGIH TLV	OSHA PEL
インクジェット プリンタ用洗浄液	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

設備対策 : 必要としない。

保護具

呼吸用保護具 : プリンターにカートリッジを装着して使用する際には必要としない。

手の保護具 : プリンターにカートリッジを装着して使用する際には必要としない。

眼の保護具 : プリンターにカートリッジを装着して使用する際には必要としない。

皮膚及び身体の保護具 : プリンターにカートリッジを装着して使用する際には必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 透明

臭い : わずか

融点/凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし

可燃性

固体、気体 : 非該当

液体 : 可燃物ではない

爆発下限界及び爆発上限界
/可燃限界 : なし

引火点 : 100℃まで検出されない
方法: closed cup

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : 7 - 8 (20 ° C)

動粘性率	
粘度	: データなし
溶解度	
水溶性	: 相用
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	
比重	: 約 1.0
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の条件下において安定
化学的安定性	: 通常の条件下において安定
危険有害反応可能性	: なし。
避けるべき条件	: 通常の条件下において安定。
混触危険物質	: 特になし。
危険有害な分解生成物	: 特になし。

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路の情報 : 吸入
皮膚接触
摂取
眼に入った場合

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

皮膚腐食性/刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

12. 環境影響情報**生態毒性**

環境への影響について有効なデータは無い。

残留性・分解性

環境への影響について有効なデータは無い。

生体蓄積性

環境への影響について有効なデータは無い。

土壌中の移動性

環境への影響について有効なデータは無い。

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
当該法規（国・都道府県及び地方の法規・条例）に従って廃棄物処理をおこなうこと。外部に委託
する場合は、内容を明確にした上で産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。

14. 輸送上の注意**国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

供給された状態の製品には非該当。

国内規制がある場合の規制情報

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法

危険物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

非該当

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

非該当

航空法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 供給された状態の製品には非該当。

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

詳細情報

引用文献 : 内部技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、OECD eChem ポータルおよび欧州化学物質局 <http://echa.europa.eu/> の検索結果

以前バージョンから変更された項目は本文書では 2 本線で強調表示されています。

この安全データシート(以下「SDS」という)で提供する情報(以下「本情報」という)は、本書作成時点において、弊社の最善の知識、情報、及び信念のもとで正確であると判断したものです。本情報は、製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄及び漏洩に関するガイダンスとしてのみ作成されており、いかなる保証又は品質規格をなすものではありません。本情報は、SDS の頭書に示されている特定された製品に関するものであり、当該本製品が他の製品と組み合わせて、又はプロセス中で使用される場合、本文中に言及がない限り、有効にはならない可能性があります。本製品の使用者各位においては、本情報及び推奨事項を適用する場合に、使用者各位の最終製品における本製品の適切な評価を含めて、使用者各位の意図する方法での特定の状況における本製品の取扱い、使用、処理、及び保管について、確認願います。